

平成23年度 第7回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成23年11月 8日 (火) 10時30分～11時58分

場 所 学長室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，川上監事，上野文化教育学部長，富田経済学部長，濱崎医学部長，林田工学系研究科長，藤田農学部長，稲岡附属図書館長，遠藤教養教育運営機構長，門出海洋エネルギー研究センター長，事務局長，

欠席者 なし

陪席者 なし

オブザーバー 各部長

○ 学長から，前回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 検討事項 】

(1) 総人件費改革対応について

学長から，本件について，平成23年度は，過去5年間で実施した人件費削減を継続する旨及び平成24年度以降については，人事院勧告や国家公務員給与減額支給措置の臨時特例法案の継続審議等で総人件費改革の方向性が不透明であるが，対応策を講じておく必要がある旨の報告があった。

次いで，総務部長から，平成23年度は前年度までと同様に人件費の1%削減を継続することと教員の前年度定年退職者の補充は原則10月以降とし，事務系職員の削減については，事務組織の見直しなどにより対応した旨の報告があった。

また，平成24年度以降の当面の対策としては，教員の平成23年度定年退職者の後任補充時期については，人件費総額を抑制するために平成23年度同様10月以降に補充を認めることとし，事務系職員については，削減計画に基づいた上，再雇用職員の勤務時間数の見直しや有効活用策などにより対応する旨の説明があった。

(2) その他

特になし。

【 報告・連絡事項 】

(1) 障害者雇用について

岩本理事から、本件について、「障害者の雇用の促進等に関する法律」の常用労働者に対する除外率の引き下げや短時間労働者の常用労働者へのカウント見直しなどにより、本学の障害者雇用数では法定雇用率に達成していないこと及び本年3月に2名の障害者雇用者が退職したことにより、4月時点で8名が不足している旨等の報告があった。

また、「障害者雇入れ計画」を12月15日までに公共職業安定所に提出必要があるため、対応策として、①障害を有する在職者への働きかけによる障害者登録、②清掃業務などへ知的障害者の雇用、③各部局の積極的障害者雇用を検討している旨の報告と障害者雇用についての理解と協力依頼があった。

(2) エコアクション21中間報告について

市場環境安全衛生管理室長から、本件について、エコアクション21への取組、環境方針、平成24年度までの主な環境目標、平成22年度の主な取組及び外部評価による審査結果、また、平成23年度の取組として、1)環境教育、2)夏季の節電対策、3)教職員研修を実施していることと今後の課題及びEA21更新審査日程等について報告があった。

(3) 全学教育機構における検討状況について

学長から、本件について、返却する学長管理定数を含めた上で、各学部等からは1名以上の教員を全学教育機構に配置換又は振替ていただきたい旨の要望があった。

次いで、瀬口理事から、今までの役員会等における全学教育機構の検討事項と今回の検討事項は教員組織及び教員配置の方針案である旨の説明があった。

また、諸泉学長補佐から、教員組織の専任教員の構成、各学部等との協議及び覚書に基づく機構に配置換する専任教員の期間付与及び併任教員の拠出並びに部門教員の案等について説明があった。

また、学務部長から、専任教員及び併任教員の今後の配置スケジュールについて説明があった。

その後、構成員から、1)2名以上の配置換を行った場合の学長管理定数の当該学部等への移行数、2)研究費等移行する教員の優遇措置、3)部門教員一覧の固有名詞の記載、3)機構登録の専任教員の助手、助教等について質疑や要望があった。

(4) 平成24～25年度の教養教育運営機構の体制について

遠藤教養教育運営機構長から、本件について、平成25年度から全学教

育機構による教育開始となるが、平成25年度においても現在の業務が残るため、平成25年度までは、原則として現行体制を維持する旨の報告と全学教育機構との並置に伴う業務多忙に関する協力依頼等があった。

その後、構成員から、新課程科目開講に伴う読み替えの不要等について質疑があった。

(5) 日本学術振興会科学研究費補助金実地検査の実施について

研究協力課長から、本件について、科学研究費補助金の機関管理の実態及び不正使用防止の取組について、11月22日(火)に実地検査が実施される旨の報告と現場確認等を要する場合の協力依頼があった。

(6) 留学生の交通事故について

学術研究協力部次長から、本件について、10月25日(火)に本学正門前で中国人留学生が交通事故に遭った旨とその後の経過状況及び留学生に関与する交通事故が多発しているため、11月2日に留学生センター長から交通ルールの理解と遵守事項等についてオリエンテーションを実施した旨の報告があった。

また、瀬口理事から、今後も定期的に指導を実施する旨の報告があった。

(7) 年頭挨拶における各理事室からの課題提出及び各学部長からの説明について

学長から、本件について、平成24年中に取り組む課題等を各理事室及び各学部長から提出していただきたい旨と各学部長には、当日10分程度で説明していただく旨の依頼があった。

(8) その他

① ティーチング・ポートフォリオの導入・活用シンポジウムについて

学務部長から、本件について、11月18日及び19日に開催する旨及び学内の参加希望者が少ないため、各学部の教職員への参加周知依頼があった。

また、瀬口理事から、学部長、副学部長、教育委員、FDの教員等は必ず出席いただきたい旨の協力依頼があった。

② 今冬の節電対策について

学長から、本件について、九州電力から12月19日から2月6日の期間で節電協力の依頼があったが、本学としては、12月から3月の期間で対前年度比5%(病院は2%)削減を目標に節電期間とする旨の協力依頼があった。